

岩城光英の永田町だより vol.212

立春を過ぎましても、春は名のための風の寒さよ・・・と、唱歌にも歌われるように、県内は大雪に見舞われました。日本時間の13日から開会したバンクーバー・オリンピックにも分けて上げたいような感じです。

自民党は、2月10日の全国政調会長会議の席上、従来は選挙直前に決めていた党の公約を5月にもまとめることを公表しました。地方を訪ね、地方の実情を把握し、地方の意見を集約して、国全体の課題解消を図るべく、私も務めてまいります。

私は、昨日14日、いわき市で開催された“サンシャインマラソン”に出場しました。これまではハーフマラソンのレースしか走ったことがなく、初めてのフルマラソン挑戦で不安がりましたが、沿道の声援にも支えられ、完走することができました。42,195kmの距離を実感する貴重な体験でしたが、健康が何よりも大事とされる政治家として、夏の参議院選挙へ向けて、走り抜いていく自信が湧いてまいりました。

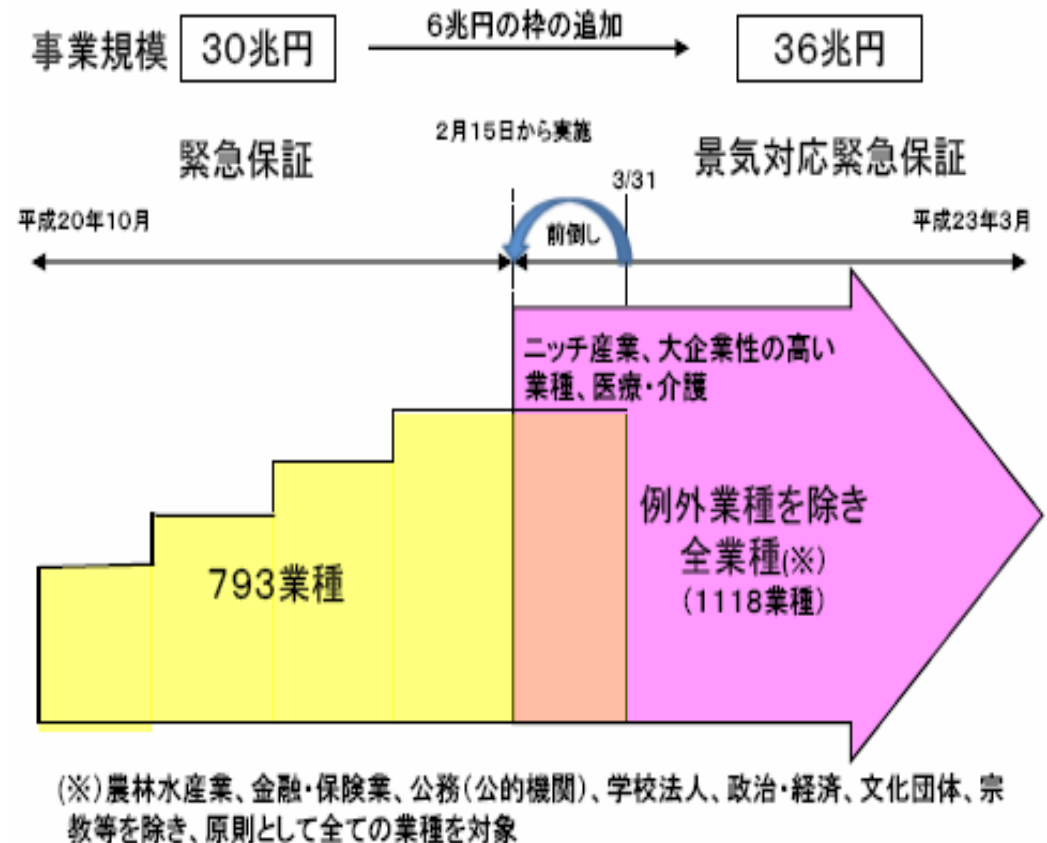
その前日からは、バンクーバー冬季オリンピックが開会しました。オリンピックの申し子・橋本聖子団長率いる日本選手団の活躍を、心から期待いたします。

さて、今号では、中小企業の資金繰り対策について、お知らせいたします。

「中小企業資金繰り対策について」

長引く不況対策の一つとして、景気対応緊急保証を2月15日より開始することになりました。この制度は、●一部例外業種を除く、原則全業種の方々に利用できます。(※ 農林水産業、金融・保険業、学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等を除く) ●対象業種の指定基準・利用企業の認定基準を改め、使い勝手を改善しました。(※ 企業認定では、

景気対応緊急保証の創設



業種指定分類の大きくくり化により、市町村での手続きを簡易にしたこと。業況低迷の長期化を考慮し、前年比減基準に加え、2年前基準を追加。))

また、セーフティネット貸し付けの延長・拡充も併せて行うことになりました。社会的・経済的環境の変化の影響から、一時的に売上高や利益が減少しているものの、中長期的には、その業況が回復することが見込まれる方々が対象となります。

今後も、一つ一つ支援策を積み重ねるよう努めてまいります。

「信なくば立たず」

北野湘南

「信なくば立たず」の言葉は、古くから政治の世界でよく使われ現在でも多く用いられている。だが、現在の日本の政界を覆っているのは、この言葉と全く逆の現象であり本当の意味の「信なくば立たず」の言葉が泣いている。

この言葉は良く知られているように論語が語源となっている。やや長いが、原文は子貢問レ政 子曰「足レ食、足レ兵、民信レ之矣」子貢曰「必不レ得レ已而去、於斯三者何先」曰「去レ兵」子貢曰「必不レ得レ已而去、於斯二者何先」曰「去レ食。自レ古皆有レ死。民無レ信、不レ立」である。

孔子が高弟の子貢から政治（まつりごと）のあり方について尋ねられた時の答えである。読み方や解釈については学者によって多少の差はあるが、大筋は政治にとって大切なことは「食糧を十分に蓄え、民を飢えさせることの無いようにすること。軍備を整えて侵略に備え、そして国民から信義を得ること」と孔子は答えた。さらに子貢が「国の事情で3つの中から何かを捨てなければならないとしたらどれを捨てたらよいのでしょうか」と尋ねると「兵を捨てる」と孔子は答えた。

さらに子貢が「さらに事情ができて残りの2つから何かを捨てなければならないとすれば何を捨てるのでしょうか」と問うたのに対して孔子は「食を捨てるべきと答え、人は昔から死から抜け出すことは出来ない。しかし、民の信義がなかったら国は安定せず政治は成り立たない」と答えた。平和を守るための軍備や民を安定させるための食糧を確保することも大切であるが、国民の信頼が政治にとつ

て最も大切なことであり、国民からの信義が、政治（まつりごと）すなわち国家・民生安定の基本であると説いたのである。

鳩山内閣は、普天間基地移転問題で迷走を続けている。5月までに決めるとしているが、国外への移転を求める社民党などとの溝は深く、国の安全の基本である日米同盟に亀裂が生じようとしている。“食糧を確保して民を安んじる”を現代流に解釈すれば「経済の安定的な成長を図り、デフレ経済から脱却して失業や雇用の不安を解消する」ことであろうが、デフレは少しも収まらず失業率は5%を越える高水準でさらに悪化する可能性さえ強い。

孔子が「やむを得ない時には捨ててもよい」とした2つを完全に放棄していることになる。民主党の小沢幹事長の政治資金を巡る疑惑は、東京地検特捜部が捜査の打ち切りを宣言したが、マスコミの世論調査でも3分の2以上が幹事長を辞任すべきとし、さらに半分近くは議員辞職さえ求めている。それでも小沢幹事長は、辞める気配さえ見せない。鳩山内閣の支持率は、40%台に落ち込み不支持が支持を上回った。国民からの信を失い、政治の要諦を完全に踏み外している。民主党政権の下では「信なくば立たず」の格言は、忘れられ死語となろうとしている。

「永田町だより」への、ご意見ご要望は、下記までお知らせ下さい。
岩城光英事務所 「 mitsuhide_iwaki@sangiin.go.jp 」